



にじいろ通信

令和8年 7月号

キッズケア青い鳥のWEB
予約と事前登録はこちら



新型コロナ 静かな流行！

6月になって、鳴りをひそめていた新型コロナウイルス感染症が増えてきています。6月初めは学童児のみに散見される程度でしたが、6月中旬からは保育所など未就学児にも感染が広がってきています。今治市の6月第3週の定点医療機関の新型コロナ感染者数は17.7人でした。県内でも今治市は突出して感染者が多い状況です。また、罹患年齢は全て14歳以下の小児となっています。

現在流行中の新型コロナの症状は比較的軽症で、38度前後の発熱と喉の痛みが主な症状です。時に嘔吐を伴うことがあります。コロナ特有の味覚障害や嗅覚障害の訴えはありません。発熱も1~2日の短期間で下熱しているようです。

発熱など風邪症状があれば、保育所や学校でコロナの発生状況を確認して、早めに医療機関を受診するようにしてください。新型コロナは学校保健安全法に基づき出席停止期間が以下のように決まっています。

「発症日を0日目として5日間を経過し、かつ、下熱して1日以上経過するまで」と定められています。学校以外の保育所なども同じ基準となっています。

手足口病の登園の目安

手足口病が保育所を中心に6月下旬から増えています。手足口病はインフルエンザのように発症してから何日休むというような出席停止基準はありません。登園の目安を以下に示します。

【登園の目安】

- ・発熱がないこと
- ・口の中の痛みがなく、普段通り食事がとれること
- ・機嫌がよく全身状態がよいこと

以上を満たせば、水疱が残っていても登園できます。

発症から3~5日程度で自然に治ることがほとんどです。

キッズケア青い鳥の
ブログはこちら



青い鳥を利用したお子様の様子などをブログで随時配信しています。
ぜひ上記のQRコードにアクセスしてみてください。

6月の感染症情報

新型コロナとヒトメタニューモウイルス感染症が流行しました。学童のお子さんではマイコプラズマ感染症の持続的な発生があり、溶連菌、アデノウイルス感染症も散発的な発生がみられました。6月下旬からは手足口病が急増しています。



6月の利用状況

6月の利用延べ人数は121人、1日平均利用人数は5.5人でした。年齢別では、1歳児が31人で最も多く、次いで2歳児、3歳児の15人の順でした。疾患別では、急性上気道炎が48人で最も多く、次いでヒトメタニューモウイルス感染症が24人の順でした。

6月はコロナ、ヒトメタなどの呼吸器感染症が流行しました。6月下旬になり夏風邪の一種の手足口病がは始め、季節の移ろいを感じます。本格的な夏本番を迎えます。熱中症にはくれぐれもご注意ください。